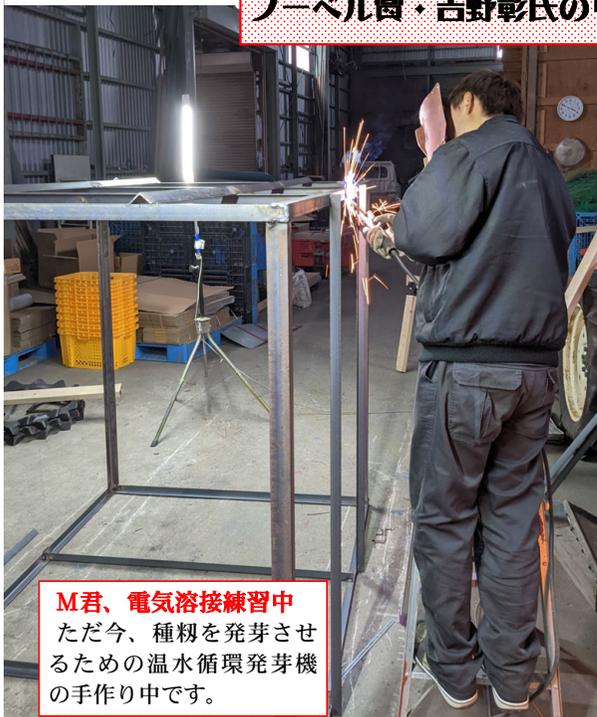


提携米通信

2021年3月号・黒瀬農舎

ノーベル賞・吉野彰氏のリチウムイオン電池に助けられる冬仕事



M君、電気溶接練習中

ただ今、種籾を発芽させるための温水循環発芽機の手作り中です。

1月、2月の通信で取り上げているように、今年の冬は、北国の当地に久しぶりに本格的な雪が降りました。

除雪機を動かしたり、道路がアイスバーンでツルツルになる。また、数メートル先の車が見えなくなるホワイトアウト現象・・・etcが何度かありました。

しかし、今から10年余り前には、連日地吹雪で1週も2週間も太陽の顔を見なかったことと比べれば、やっぱり「暖冬」です。

ただ、この冬は、日中の最高気温がマイナス5℃以下になる日が時々あったかと思うと、プラス10℃近くに上がる日に変るなど寒暖の差が激しいです。

ところで、昨年末から、溶接など鉄鋼作業や、機械修理、電気工事などを教えて欲

しいという20代の若者M君が、アルバイトに来てくれています。

M君と一緒に、正月明けから土日以外は毎日倉庫で、鉄鋼工作や農機の修理改良作業に明け暮っていますが、この冬の激しい寒暖差は後期高齢者の身体には応えませぬ。

作業を始める朝がマイナス5℃以下の時は、筋肉が凍るような感じで、冷え切った鋼材を持ち上げたり、転ばせたり^{うま}の加工作業が上手く行えない時があります。

こうした時には、ホッカイロを腰に貼ると快適でした。ところが、作業が進み身体が温かくなったり、気温が上がってくると、今度は暑すぎて苦痛になります。

そこで、この冬は、電池込みで僅か5千円の電熱チョッキ^{わづ}を着てみました。強・弱も、入・切もワンタッチ。実に快調です。リチウムイオン電池を生んだ旭化成の吉野氏に感謝です。

提携米 黒瀬農舎

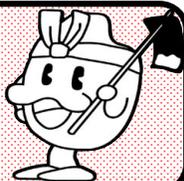
〒010-0445

秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887

E-mail: akita@kurose.com Web: 提携米 黒瀬農舎 検索



★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
★変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までに連絡下さい。

★お米のご贈答利用も宜しくお願ひします。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承願ひします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

斑点米 = イネカメムシ = ネオニコ農薬 ご理解をお願いします。

ご飯粒に「黒ゴマが混ざったのだろうか？」と思うような褐色の斑点が付いている場合があります。これは「斑点米」と呼ばれているイネカメムシの被害粒なんです。

穂が出る日の違いなど、被害発生程度は、田圃によって驚くほど異なります。

米粒が柔らかい「乳熟期」に、カメムシが米粒を吸った傷跡が、斑点として残っているのです。

農薬を数回散布すれば、簡単に防げます。

でも、私たちの無農薬・有機栽培ではお手上げです。

10年程前までは、カメムシの発生が多い場合には、斑点がついたお米が1%近くもあり、ご迷惑をお掛けした時代もありました。

ネオニコチノイド系農薬？

Systemic pesticides?

農地や松林などで害虫駆除剤として大量に使われています。

ハチの大量死と関連？**

ヘリコプターで空中散布

水と一緒に植物の隅々まで浸透

地上で散布

粒状、粉状、液状、作物の種子にコーティング

家庭や身の回りでも使われています。***

ゴキブリやシロアリなどの害虫駆除剤

神経発達障害と関連？***

ペットのノミ取り

ガーデニング用の殺虫剤

上の挿絵は、一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの広報からの借用です。

また、このような環境破壊だけでなく、神経発達障害（注意欠陥や多動性障害、自閉症etc）との関連など人への影響も明らかになりつつあります。

安全な食べ物を取り扱う生協や流通会社、組織、また、環境保護団体や研究者などから規制強化や適正な影響評価を求める声があがっています。

EU：3種類のネオニコ系農薬などを禁止。人間の神経発達障害との関連を懸念する公式見解を発表。

フランス：EUの3農薬を含めネオニコ系の全農薬の禁止・・・etc、海外では、ネオニコ系農薬の規制や排除が行われていますが、日本では規制が全く行われていないのが現状です。

この時代では、斑点米を除去するための色彩選別機の購入には、数千万円必要。農家での購入は無理でした。

その後、サタケという農機社が、農家でも購入できる価格で販売してくれたお陰で、被害粒が多く出ても、その7、8割は除去できるようになりました。

斑点米が混ざっていても、味が落ちたり、身体に害は全くありませんが、見栄えが悪いです。無農薬米の証と思って、どうぞお許し下さい。

一般の生産者は、消費者に嫌われる「斑点米」を防ごうとして、農薬を撒きます。

多くても数回使うだけですが、栽培後半の収穫期近くですので、人体への影響が心配です。

これに使われる農薬のほとんどはネオニコ系と呼ばれている種類の農薬です。

ネオニコ系農薬とは、タバコのニコチンに似た成分であるネオニコチノイドがベースの殺虫剤です。

1990年代に登場。ハチの大量死、赤とんぼの激減の原因のひとつといわれています。